国民の共同で 安倍政権の暴走にストップを

安倍政権の暴走の一つ一つに国民多数が反対、世論も変化し、矛盾が広がるばかりです。そして一致する要求実現のために政党・団体・個人が対等・平等の立場で力を合わせることが当たり前になりつつあります。ここに日本の政治を変える未来があります。

「解釈で憲法こわすな」広がる声

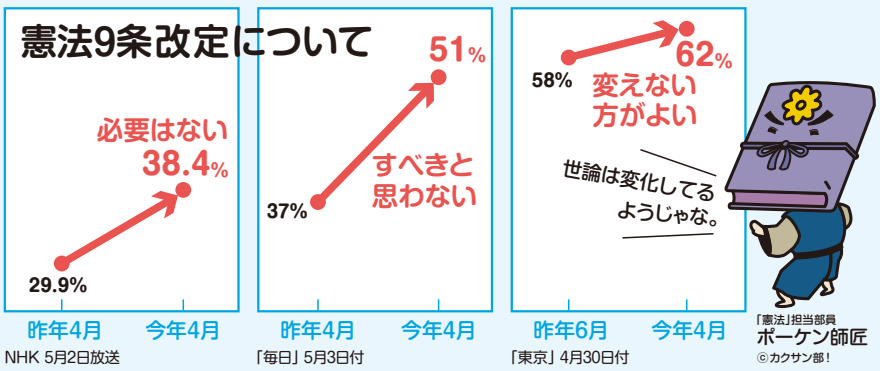
憲法解釈を変え、集団的自衛権を行使し「海外で戦争する国」にしようと安倍政権が本格的に踏み出し、軍国主義復活へ暴走しています。

自民党の元幹事長も「しんぶん赤旗」に登場し「立憲主義の否定」と批判しています(写真)。

侵略戦争や植民地支配を肯定・美化する立場も世界との矛盾を広げています。

加藤紘一氏、野中広務氏、古賀誠氏ら自民党元幹部が登場。

懇談する日弁連・弁政連と日本共産党国会議員団。あいさつする志位委員長



原発再稼働に司法が「待った!」

大飯原発の運転差し止め

原発の運転は命を脅かし国土を傷つける。国富の喪失だ――福井地裁は大飯原発の再稼働差し止めを命じました(5月21日)。

幅広い無党派の人々が自発的に参加する市民運動の発展や、世論の力があったからです。日本共産党も「原発ゼロの日本」へ力をあわせてがんばります。

安定した雇用へ共同行動

「生涯ハケン」「正社員ゼロ」社会に道をひらく労働者派遣法の大改悪。

これにたいして、共闘組織が結成されたり、全労連、連合、全労協など労働組合の違いをこえた共同行動が始まっています。

(写真は第85回中央メーデー)

島ぐるみで「新基地ノー」

米軍基地の「県内移設反対」73・6%(「琉球新報」5月5日)――沖縄県民の総意は揺るがず前進しています。辺野古の座り込みは10年、名護市の稲嶺市長も訪米し新基地ノーを訴えました(写真左)。

右へならえ――翼賛化する国会のなか

共同の力で政治を変える

日本共産党

国会が「翼賛化」し、「自共対決」がハッキリ。日本共産党は安倍暴走政治に正面から対決し、国民の立場からの対案をしめし、国民と共同して力をつくします。

翼賛化する国会

憲法9条改定の条件づくりのための改憲手続き法(国民投票法)の改定を自公民など7党の共同提案で採決(5月9日、衆院で)。

民主・維新・みんな・結いの4党の有志議員は集団的自衛権行使を容認する指針をまとめる。

しんぶん赤旗 2014年6・7月号外
1952年5月30日第三種郵便物認可
日本共産党の見解を紹介します。あなたのご意見、ご感想をおよせください。

発行●日本共産党中央委員会 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7
TEL.03-3403-6111(代表) FAX.03-5474-8358
ホームページアドレス http://www.jcp.or.jp

「ためこみ金」
財政調整基金

住民負担増を続けながら、くらしのために予算を使わず、億単位でためこむ――こんな例が市町村合併した自治体で続出しています。

基金のほんの一部を活用すれば市民の願いは実現できると、キッパリ主張しているのが日本共産党です。

対決

消費税増税反対の先頭に

多くの自治体で、消費税8%への増税分を上下水道料金などの公共料金などに転嫁し、値上げしています。

これにほかの党が賛成するなか、日本共産党は「転嫁はやめ、値上げ中止を」と主張しています。

埼玉県では学校給食費を63市町村中31市町村で据え置き、沖縄県では上水道料金を41市町村中8市町村で据え置いています。

国保税（料）の引き下げを

所得は減るのに、国保税（料）は上がるばかり――国保税（料）の値上げには反対をつらぬいています。

兵庫県加古川市議団は「一般会計からの繰り入れを増やして引き下げを」と提案、2013年度、2014年度には引き下げを実現しました。

対決 対案 共同 で 地方政治を 変えます 日本共産党

対案

学校耐震化を前倒し100%地元発注

福岡県北九州市議団は、2009年市議選で学校耐震化の実施を要求。その後も、前倒しで実施させ、2015年度末までに全校で完了することに。

耐震補強工事は100%地元発注（2012年度までに105億円）。地元業者の活性化にもつながっています。

全除雪車にGPS（衛星測位システム）つけ迅速に除排雪を

青森県青森市では毎年、生活道路の除排雪が市民生活に支障をきたしています。

党市議は、すべての除雪車にGPSをつけ、除雪車の動きをリアルタイムで把握し生活道路の除排雪に迅速に対応するよう提案。

市は先進地を調査することになりました。

共同

議席倍増 病院建設へ道筋

茨城県議団

昨年9月、県議補選で日本共産党の議席を獲得、2議席になった茨城県議団。

党県議は「新中核病院建設は市民の悲願。病院建設に県が責任を持つように」と要求。知事は「最大限の努力をしたい」と答弁。

住民との共同も大きく広がり、3月には病院の「基本構想」作成を市が業務委託するなど、病院建設に向かってスタートしています。

党県議の活動を紹介する「茨城民報」

しんぶん赤旗
日刊●3,497円　日曜版●823円

お申し込みはお近くの党事務所または党員か下記の住所まで
日本共産党中央委員会
〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7
TEL.03-3403-6111（代表）

購読申込書
おなまえ　　おところ　〒
電話（　　）　○をつけてください。　日刊●3,497円　日曜版●823円

日本共産党の活動はみなさんによって支えられています。募金にご協力ください。もよりの党事務所か、お知り合いの党員にご連絡いただくか、右記へお送りください。　郵便振替●日本共産党中央委員会 00170-7-98422